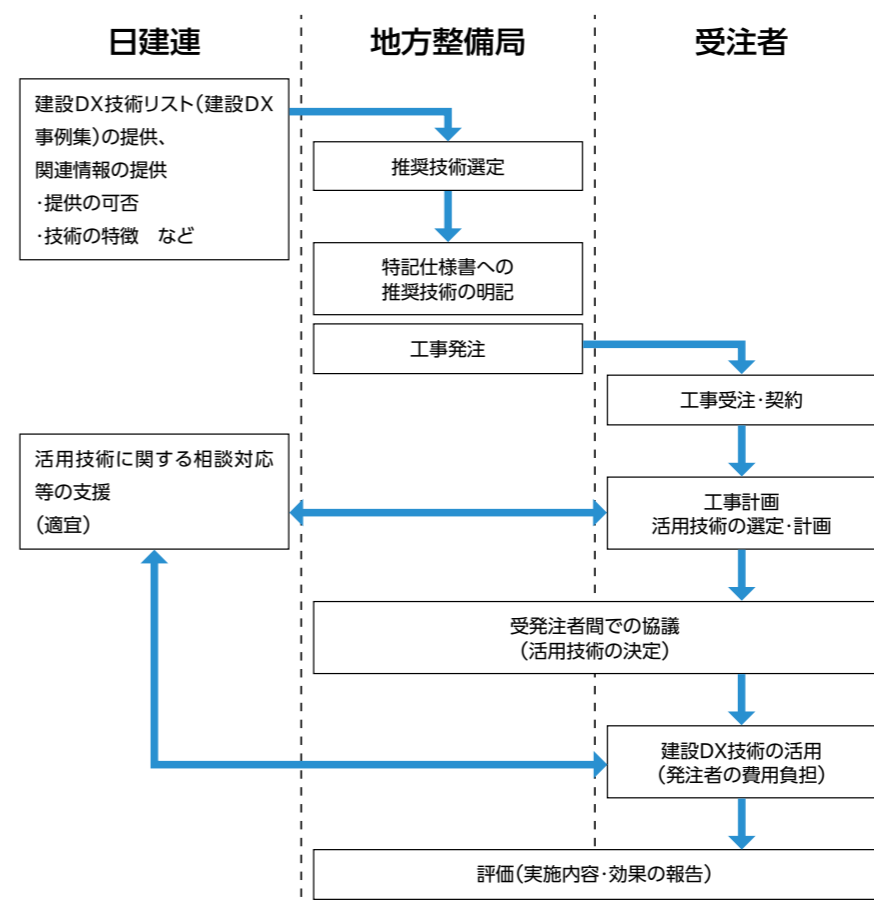


# 四国地方整備局 インフラDXモデル工事見学会、建設DX参観日に参加

国土交通省四国地方整備局（四国地整）は二〇二二年度、中小建設者におけるインフラDXの活用や技術の普及、建設業の魅力のPRを

目的としたインフラDXモデル工事を、「令和四年度今治道路五十嵐高架橋下部P47-49工事」（愛媛県今治市）で実施している。



このモデル工事は、地元建設会社が施工している現場に、日建連インフラ再生委員会が作成した「建設DX事例集」（二〇二二年三月）に掲載されている九二技術のなかから五つの技術を取り入れて実施しているもので、このたび、地元四国の建設業関係者を対象とした「DX現場見学会」と、小学生と保護者を対象とした「DX参観日」がそれぞれ開催された。日建連は、技術を提供した五社がブースを設置し、参画した。

初日の「DX現場見学会」には、四国全県の建設会社など三四社から約一〇〇名が参加し、それぞれのブースで最新技術を体験した。参加者に配付した「DX事例集」は追加の持ち帰り希望も多く、地元建設会社の最新技術への関心の高さが伺えた。

二日目の「DX参観日」には、現

## 【建設DX事例集をもとに、今回使用している5つの技術】

| 事例集番号 | 会社名       | 事例名                         | 事例集掲載ページ |
|-------|-----------|-----------------------------|----------|
| 29    | 鹿島建設(株)   | AI配筋検査システム                  | 57       |
| 42    | 清水建設(株)   | 3眼カメラ配筋検査システム 写らく           | 83       |
| 71    | (株)不動テトラ  | 点群データを活用した構造物の施工管理          | 141      |
| 74    | 三井住友建設(株) | リアルタイム鉄筋出来形自動検出システム「ラクカメラ®」 | 147      |
| 82    | (株)浅沼組    | VRによる安全教育訓練                 | 163      |

や重機の操作、高所作業車での周辺展望などを体験した。参加した児童は皆、目を輝かせながら最新技術に触れていた。また、保護者からは「我々世代にとってきつい・汚い・危険」という3Kの印象がある建設現場がここまで進化しているとは知らなかった」などの感想があり、進化し続けている今の建設業の姿をPRすることができた。

これらの取組みは、地元一般紙やTVにも取り上げられ、担い手確保に向けた魅力ある建設業の発信に貢献することができた。

四国地整はこの取組みを今年度は他県にも拡大したいとしており、日建連も五月から始まる「公共工事の諸課題に関する意見交換会」において、取組みの拡大や他の地方整備局への横展開を訴えていく。

## 【見学会・参観日の様子】



「建設DX事例集」は下記二次元コードからアクセスしてご覧ください。



◆DX現場見学会◆  
二〇二三年三月十日(金)  
◆DX参観日◆  
二〇二三年三月十一日(土)